

都市再生整備計画 事後評価シート
萬代橋周辺地区

平成30年3月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	萬代橋周辺地区			面積	152ha
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,402百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	提案事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
1)事業の実施状況	基幹事業	地域生活基盤施設(にぎわい広場、立体遊歩道(萬代橋橋詰)、視点場(信濃川左岸)、視点場(信濃川右岸)、情報版(橋の案内板6基)、自転車駐車場)、高質空間形成施設(万代島旧水揚場緑地、バリアフリー対応公衆トイレ・水飲み場、照明施設等)、既存建造物活用事業(旧万代島水揚場地域交流拠点)							
	提案事業	地域創造支援事業(公共空間利活用推進(インフラ整備)事業、ジョギング・サイクリングステーション整備事業、萬代橋エリアまちなみぐるりルート開発事業、旧万代島水揚場跡地整備事業)、事業活用調査(萬代橋から見る景色・萬代橋が見える景色づくり事業、地域交流拠点利活用検討調査、事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(公共空間を活用したエリアマネジメント支援事業)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業 地域生活基盤施設(自転車駐車場)、高質空間形成施設(バリアフリー対応公衆用トイレ、水飲み場(弁天2地内・やすらぎ堤右岸・左岸))				関連する道路事業において用地取得が困難であり進捗が見込めない、また別事業での実施に変更した等の理由により削除。		別事業に移行するなど、整備は実施するものもあり、目標および指標は据え置く。	
	新たに追加した事業	提案事業 地域創造支援事業(ジョギング・サイクリングステーション整備事業)、地域創造支援事業(萬代橋エリアまちなみぐるりルート開発事業)				民間施工及び別事業による進捗を図るため、事業を削除。		施設整備については民間事業者による整備を想定しており、これらの事業についての目標および指標は据え置く。	
交付期間の変更	当初	平成25年度から平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更	変更なし							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	萬代橋の歩行者・自転車通行量	人・台/日	7,542	H22	7,542	H29	-	9,359	○	あり	案内板による利便性向上と併せ、光のネックレス事業(やすらぎ堤)、榎谷小路ゆうあい公園・他門川公園の整備などにより、区域全体の魅力と回遊性の向上により、歩行者等の増加を促した結果、目標値を達成している。	H30.12
指標2	道路空間を活用した事業活動回数	回	4	H23	10	H29	-	13	○	あり	万代シティ周辺の市道整備や左岸視点場整備などの魅力付けを行うとともに、周辺(やすらぎ堤)における長期イベントの開催により、夏から秋口にかけての事業活動回数が増加し、目標値を達成している。	H31.3
指標3	やすらぎ堤及び港湾緑地等の利用稼働率	%	34	H23	50	H29	-	53	○	あり	やすらぎ堤やその周辺における視点場整備や水飲み場・トイレ整備など、エリアの魅力と利便性が向上し、目標値を達成している。	H31.3

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												

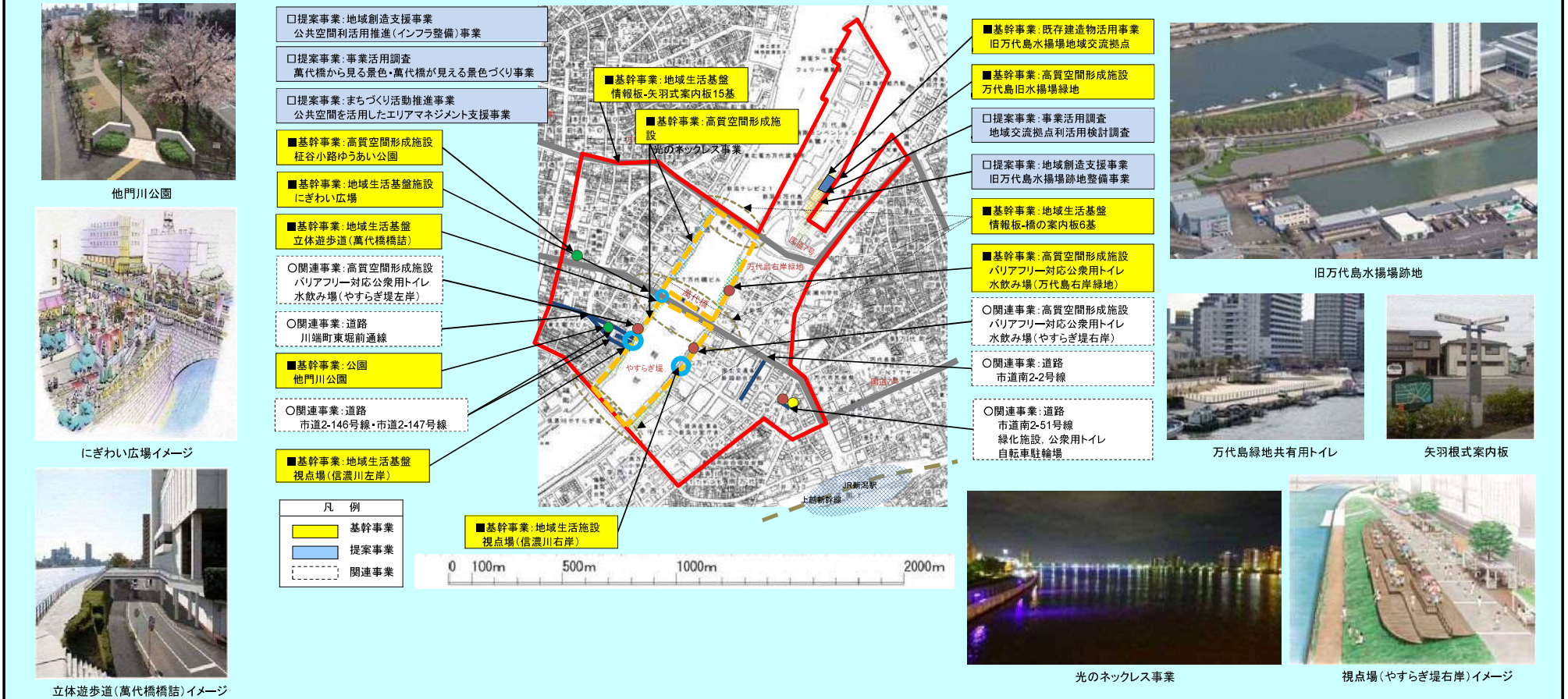
4)定性的な効果発現状況	平成28年に民間事業者等による営業活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域」の指定を萬代橋周辺のエリアで受け、「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」として、河川敷でのイベント活動を展開した。その結果、多くの来訪者がみられ、平成29年には公募による民間事業者によるやすらぎ堤でのイベント活動が実施されるなど、やすらぎ堤における賑わいの場としての活用が定着しつつある。											
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	住民参加プロセス	モニタリング	住民参加プロセス	モニタリング	住民参加プロセス
5)実施過程の評価	モニタリング	実施せず	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
	住民参加プロセス	「萬代橋周辺まちづくり協議会」および「ミズベリングやすらぎ堤研究会」へのヒアリングを行い、実施事業の評価・要望を確認した。	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	定期的なヒアリングにより、住民ニーズを十分に把握した効果的な事業を推進していく。
	持続的なまちづくり体制の構築	「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」として、公募によるやすらぎ堤の使用を行う民間業者を選定。H29年度から、定着期間として様々な取り組みが実施されており、交流人口の増加がみられている。	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	萬代橋周辺賑わいが定着するよう、今後も市と民間事業者等が協働してエリアマネジメントを推進していく必要がある。

様式2-2 地区の概要

萬代橋周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
都心軸と自然軸が交差する「萬代橋」周辺ならではの魅力を活かした「まちなか空間」の創出	萬代橋の歩行者・自転車通行量	人・台/日	7,542	H22	7,542	H29	9,359	H27
目標1 まちなかと信濃川、みなとを結びつけ、回遊性の高い歩行空間を創る	道路空間を活用した事業活動回数	回	4	H23	10	H29	13	H29
目標2 萬代橋周辺の公共空間を活用し、新たににぎわい空間を創る	やすらぎ堤及び港湾緑地等の利用稼働率	%	34	H23	50	H29	53	H29
目標3 信濃川が育む良好な景観と開放感のある水辺空間を創る								



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・萬代橋周辺のうち、特にやすらぎ堤を中心とした整備がなされ、歩行者の回遊性や利便性の向上が図られつつある。 ・やすらぎ堤を活用したイベントの開催などにより、エリアの活性化・賑わい創出が図られつつあり、エリアの魅力も市民に認知されつつある。 ・今後は行政主導型ではなく、賑わいづくりのプレイヤーを官から民へ移行していくことが求められつつある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・萬代橋周辺賑わいが定着するよう、今後も市と民間事業者等が協働してエリアマネジメントを推進していく必要がある。 ・現在、新潟駅～萬代橋～古町にかけて「都心軸」の整備が進められており、やすらぎ堤をはじめとした信濃川沿線の「交流軸」の結節点である萬代橋は、新潟市内の賑わい創出のための拠点として、重要性がさらに高まっている状況である。 ・エリア全体の価値を高めていくため、今回整備された施設や既存施設の有効活用のため、萬代橋のさらに上下流側におけるや周辺の回遊性や利便性向上のためのハード整備・ソフト対策の充実を図っていく必要がある。